

これまで伝道者、牧師、教師を主が教会に建てられた事を見て来た。

その働きの目的は、主の体である教会に連なるすべての者を「完全な大人」にし、

主の満ち満ちた身丈にまで達する為、

みな「信仰の一致と神の御子に関する知識（完全な知識）の一致」に達する事にある事を見て来た。

それは、私達の目標である。私達は、まだそこに達していない。

目標をみざす事と今の自分達の現実を認め励まし合う事が大切。

I まず第一に理解すべき事は、私たちは皆、クリスチャン生活を子供として歩み出すという自覚。

クリスチャンの歩みは、これまでの生活の延長ではなく、新しい生活。御聖霊により新生、新しい命を受け神の子として誕生し、子供として歩み出す。

神により、一步一步、育てられ成長し霊的な大人に変えられて行く。感謝！

信仰告白、洗礼は、ゴールではなく、始まり。子供である私達がまずすべきことは、学び、ふさわしい者とされて行く事、主と教会に仕える為に整えられる事。

大人、子供に関係なく、私達は、霊的な大人に成長する途上の霊的な子供という自覚が大切。

II 私達が霊的な子供である特徴。

① 不安定さ。「波にもてあそばれたりする（この原語は、揺れるとも訳せる）」：14。

時に激しく、かき回される。

② きまぐれ、気持ちが変わり易い。笑ったかと思うと、すぐに泣きだす。

表情が目まぐるしく変わる。

③ 一瞬のうちに極端から極端に変わる。

④ 自制心の欠如。衝動的で感情に左右される。我慢できない。自分の気持ちを制御できない。

自制できず、そのまま表に出す。欲しいものがあれば、自制できず、すぐに手に入れたがる。そうならないと、怒り不機嫌になる。

自分に起こる出来事に対して、自分の反応や応答を制御できない。

極端さがあり、好きか嫌いかのどちらか。中間がない。

極端に右に振れたと思うと、今度は反対に振れる。

※個人も、世界の国々の判断も。聖書は、鏡のように、私達人間の子供の姿を映し出す。

私達は、自分達に起こった出来事に、過剰に反応しないように祈りたい。

⑤ ものの見方が極端で、極端から極端に見方を変え易い。ひとりよがり。独善的に考える。

他の人への配慮が足りない。

⑥ 絶えず混乱を巻き起こし、精神的に引っかき回す。小さな事で怒り、わっとひとかたまりになり、

一斉にしゃべりまくる。わけのわからない状態になる。

⑦ 一歩、引き下がるという余裕がない。※これらを他人事ではなく、自分の中にある子供の姿と認め、

へりくだり、霊的な大人に成長できるように祈る人は幸い！

⑧ 間違った方向に引っ張られ易く、惑わされ、だまされ易い。

「人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり」：14。

「あらゆる方向に吹き回される」とも訳せる。言われた事を素直に信じやすい。

※良い面でもあるが、危険があり、やはり識別力が必要。

⑨ 正しい知識、判断の基準を持っていない。ものの吟味や評価が出来にくい。

※子供が小さい時から、聖書から物事を判断、吟味できるように、御言葉の種を心に蒔いておくことは大切。決して無駄にならない。いつか芽を出す。

⑩ 教えられたり訓練を受ける事を好まない。気が短く、いつもせっかちに欲しがる。

時間をかけ、一つ一つの段階、練習の積み重ねを好まず、すぐに結果だけを求める。

⑪ 継続より、目新しさ、変化、新しいものを好む。良い面もあるがバランスが大切。

Ⅲ 間違った「教えの風」：14。

① 十字架で罪の赦しと神の受け入れられる義を完成された主を信じる事により救われるという聖書的な教えではなく、行いや割礼を受ける事による救いという間違った教え。

② キリストは、神ではなく、神に造られた被造物という間違った教え。

正しい教えは、キリストは、神ご自身。

③ 聖霊は、神ではなく、力であるという間違った教え。

正しい教えは、御聖霊は、力を持った人格を持っておられる交わりの神。

④ 聖書は、事実を記しておらず、神話であるという間違った教え。

正しい教えは、聖書は、神の靈感（神の息吹を受けている、聖霊による）によるもので、真の知恵、救いを与え、教えと戒めと矯正と義の訓練との為に有益な誤りのない神の御言葉。

Ⅳ「私たちがもはや、子どもではなくて、人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり、波にもたあそばれたりすることが」なく、霊的な大人に成長できるように神の励ましの御言葉。自分もまだ霊的な子供という自覚、謙遜が大切。

1. 「物の考え方において子どもであってはなりません。…考え方においてはおとなになりなさい」
Ⅰコリント14：20。

2. 66巻の聖書全体を読み味わう。

「すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救い（義認・聖化）を得るためです」Ⅰペテロ2：2。

「みことばは、あなたがたを育成し」使徒20：32。

毎日、御言葉読み味わいたい。間違った教えに聖霊と御言葉は気づかせて下さる！

3. 教会員に祈られ支えられ、主が立てられた牧師、説教者の礼拝の御言葉で養われる。

「聖書の朗読と勧めと教えとに専念しなさい」（パウロからテモテへ）Ⅰテモテ4：13。

神は、祈られ、良く準備された礼拝説教を用いて教会を大人へと成長させられる。

4. ①礼拝②ディボーション③互いに主を間に置き、交わり、御言葉を分かち合い、感謝と祈りの課題を分かち合い祈り合う事を通して、霊的なぶどうの木である主にとどまる、繋がる。

その時、キリストからの栄養（神に近づく聖さ、暖かい愛）が、私達の心に流れてくる。

「人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実

（人々の救い、霊的成長、愛、喜び、平安、寛容、誠実、柔和、自制）を結びます」ヨハネ15：5。

霊的な子供から霊的な大人になれますように！